

第 17 回マクロコンファレンス

2015 年 11 月 7 日 (土)、8 日 (日)

一橋大学国立東キャンパス・マーキュリータワー
7 階 マーキュリーホール, コンファレンスルーム
<http://www.hit-u.ac.jp/guide/campus/access.html>

オーガナイザー (代表)

阿部修人 (一橋大学)、小野善康 (大阪大学)、
櫻川昌哉 (慶應義塾大学)、渡辺努 (東京大学)

プログラム委員

青木浩介 (東京大学)、小川一夫 (大阪大学)、塩路悦朗 (一橋大学)、
寺西勇生 (慶應義塾大学)

主催

TCER (東京経済研究センター)、慶應義塾大学経済学部、
東京大学「長期デフレの解明」プロジェクト、
一橋大学経済研究所経済社会リスク研究機構、大阪大学社会経済研究所

フォーマットについてはプログラムの最後をご覧ください。

使用言語：プログラム中、論文 (4) は英語による報告です。それ以外は、オーディエンスの中に日本語を話されない方がいらっしゃる場合は、報告者と討論者の了承が得られれば英語で行います。その他の場合には日本語で行います。

参加ご希望の方は 10 月 25 日 (日) までにコンファレンス担当秘書加藤香菜
<k-kato@ier.hit-u.ac.jp>までご連絡ください。その際、以下の 5 つの時間帯につきまして、(出席・欠席) をお答え下さい。

- (1) 11 月 7 日の午後のセッション (出席・欠席)
- (2) 11 月 7 日のディナー (出席・欠席)
- (3) 11 月 8 日の午前のセッション (出席・欠席)
- (4) 11 月 8 日のランチ (出席・欠席)
- (5) 11 月 8 日の午後のセッション (出席・欠席)

ご参加は経済学に学問的興味を持って活動しておられる方 (大学の先生、大学院生、民間・官庁・中央銀行エコノミストなど) を優先させていただきます。それ以外の方はまずお問い合わせください。また席に限りがございますのでご了承下さい。

プログラム

11月7日(土)

開場・受付 13:30

第1セッション：座長 小川一夫（大阪大学）

論文(1) 14:00-15:10

及川浩希（早稲田大学）

"Short- and Long-Run Tradeoff of Monetary Easing"（上田晃三との共著）

討論者：荒戸寛樹（首都大学東京）、三野和雄（京都大学）

コーヒーブレイク 15:10-15:25

論文(2) 15:25-16:35

鵜飼博史（一橋大学）

"Transmission Channels and Welfare Implications of Unconventional Monetary Easing Policy in Japan"

討論者：植田和男（東京大学）、小枝淳子（早稲田大学）

コーヒーブレイク 16:35-16:50

第2セッション：座長 櫻川昌哉（慶応義塾大学）

招待講演<1> 16:50-18:00

村瀬英彰（学習院大学）

「日本の長期停滞：弱い企業統治のマクロ経済学による分析」

ディナー（ケータリングを予定）とディスカッション 18:00-

第1日の総括 小野善康（大阪大学）

11月8日(日)

開場 9:30

第3セッション：座長 寺西勇生（慶応義塾大学）

論文(3) 10:00-11:10

上田晃三（早稲田大学）

"Strategic Central Bank Communications: Discourse and Game-Theoretic Analyses of the Bank of Japan's Monthly Reports"

(Kohei Kawamura、小橋洋平、鎮目雅人との共著)

討論者：白塚重典（日本銀行）、藤本淳一（政策研究大学院大学）

コーヒーブレイク 11:10-11:25

論文(4) 11:25-12:35

仲田泰祐（連邦準備制度理事会）

"Conservatism and Liquidity Traps" (Sebastian Schmidt との共著)

(英語による報告)

討論者：小林慶一郎（慶応義塾大学）、肥前洋一（高知工科大学）

ランチ（弁当を予定） 12:35-13:45

第4セッション：座長 阿部修人（一橋大学）

招待講演<2> 13:45-14:55

有賀健（京都大学）

"Japano-Sclerosis, Revisited"

コーヒーブレイク 14:55-15:10

第5セッション：座長 青木浩介（東京大学）

論文(5) 15:10-16:20

蓮井康平（神戸大学）

"Liquidity Trap and Optimal Monetary Policy Revisited"

(須合智広、寺西勇生との共著)

討論者：高橋修平（京都大学）、宮尾龍蔵（東京大学）

閉会 16:20

論文報告のフォーマット：報告者 20 分、討論者各 15 分、フロアからの討論 20 分、計 1 時間 10 分。上記の討論者の順は、50 音順です。実際の登壇順序は、座長と討論者でご相談ください。

招待講演のフォーマット：講演 50 分、フロアからの討論 20 分